

豊島区伝統工芸保存会所属の貴金属装身具職人の 島 功氏が令和 8 年春の「黄綬褒章」の受章を報告！

6月11日(木)、豊島区伝統工芸保存会に所属する貴金属装身具職人の島 功(しま いさお)氏が、高際みゆき豊島区長へ令和 8 年春の黄綬褒章受章の報告に区役所を訪れ、受章の喜びを語りました。

黄綬褒章は、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方を顕彰するため、天皇陛下から授与されるもので、今回の受章は、区の伝統文化の歴史において、極めて栄誉なことです。

今回黄綬褒章を受章した島 功氏は、60 年の経験を持つ貴金属装身具の熟練職人で、原型作りから鍛金(たんきん)、ロウ付け、仕上げまで一貫した加工・製作を行っています。特に、金属の層が木目状の文様を創り出す「木目金(もくめがね)」や、繊細な造形を可能にする「蜜蝋細工(みつろうぎいく)」の加工技能を極めた方です。また、区内の小・中学校でのものづくり体験教室や各種イベントにおいて実演や講師を務めるなど、区伝統工芸士として地域教育にもご尽力いただいています。

区役所訪問にあたり、島氏は「この黄綬褒章の名誉を糧に、今後も技術を磨き、地域の財産として次世代へ継承し続けます。受章できたのは豊島区での活動のおかげです」と受章の喜びを語りました。

高際みゆき豊島区長は、「豊島区の伝統工芸士から、大変名誉な受章者が出たことを嬉しく思います。引き続き、区内での活動に加え、世界に伝統工芸の魅力を発信し続けてほしいです」と話します。

■貴金属装身具職人 島功氏による令和 8 年春の「黄綬褒章」受章報告 概要

日 時:令和 8 年 6 月 11 日(木) 15 時 00 分から 15 時 30 分

場 所:豊島区本庁舎 5 階 区長応接室(豊島区南池袋 2-45-1)

概 要:黄綬褒章受章報告、懇談(作品紹介)、写真撮影

出席者:島貴金属製作所 島 功氏

豊島区伝統工芸保存会 会長 高橋 定裕氏

豊島区長 高際 みゆき



懇談の様子



記念撮影

■島 功氏のこれまでの活動・功績



東京都豊島区出身。1965年に株式会社中井貴金属に入社し、貴金属製造の技術を10年間学ぶ。1974年に独立、島貴金属製作所を設立し、2008年に豊島区伝統工芸保存会に入会。

貴金属加工に関する専門知識と優れた技能を有しており、技術伝承に大きく寄与している。

表彰・受賞歴

平成 20 年	東京都優秀技能者(東京マイスター)
平成 22 年	全日本貴金属技能士会連合会会長表彰
平成 23 年	全国技能士会連合会会長表彰
平成 23 年	豊島区伝統工芸士認定
平成 26 年	東京都職業能力開発協会会長表彰
令和 3 年	豊島区長表彰
令和 5 年	厚生労働大臣表彰(卓越技能)
令和 8 年	黄綬褒章



「木目金ブローチ(K18,パール,ダイヤモンド,ルビー)」



蜜蝋細工の「ブローチ(ボルダーオパール,カラーサファイア)」

【参考】

○豊島区伝統工芸保存会 伝統工芸士 | 島 功

https://toshima-dentokogei.com/members/i_shima/index.html



○豊島区伝統工芸～シリーズ3～ (装身具の世界と日本の伝統技術)

https://www.city.toshima.lg.jp/132/miryoku/meguru/spot/dentokougaihozonkai_3.html

